

ブラウンバックセミナー
Brown Bag Seminar

2021.7.21

日
同時通訳
英

オンライン
(Zoom)
技術支援
九州大学 Q-AOS & TEMDEC
録画期間限定公開

12:10
↓
12:50

12:10-12:15 紹介
12:15-12:40 プレゼン
12:40-12:50 質疑応答

EU 統合の現状と課題ーアジアの未来を見据えて

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

EU(欧州連合) は、1951 年のヨーロッパ石炭鉄鋼共同体 (ECSC) 設立条約調印以降、約 70 年の歴史の中で、統合を「深化」させて単一市場や単一通貨を実現してきました。また「拡大」を通じて構成国数も当初の 6 カ国から最大 28 カ国 (現在 27 カ国) になるなど、いまや世界経済の重要な極を形成しています。

一方、近年は、ギリシャ政府債務危機以降のユーロ制度を巡る問題や英国の離脱 (Brexit) など、ネガティブな話題にも事欠きません。大学院時代から 30 年以上にわたって EU の統合を研究してきた視点から、日本を含めたアジア地域における経済統合も念頭に置き、EU 統合の過去・現在・近未来について考えます。



岩田 健治 教授
九州大学 経済学研究院

岩田健治先生は、東北大学文学部卒業後、同経済学研究科にて博士号(経済学)を取得。専門はEU統合、国際金融で、『現代ヨーロッパ経済第5版』(共著、有斐閣、2018年)他多数の著書があります。1998年から理事として日本EU学会の発展に尽力し、理事長(2017年~2018年)も務められました。また2015年より九州大学EUセンター長、2019年より九州大学大学院経済学研究院院長を歴任しました。30年以上EUについての研究・教育に携わり、EUの金融・通貨統合に関する研究を推し進めています。

「EU(欧州連合)」
「地域的統合」
「アジアの未来」

Key Words



登録はこちらから
https://temdec-med-kyushu-u-ac.jp.zoom.us/webinar/register/WN_lgSOTJ6PRDe3e5gFDopZ3Q